



愛あいニュース



2023 年 8 月号 在宅リハビリ強化型 訪問看護リハビリステーション愛あい

《訪問中の事故対応と記録》

下記内容はあくまで事故発生時の一例です。

大切なのは二度と同じ事故を繰り返さないために深く事業所内で検証し、再発防止策を講じることが必須です。

(事故例) 利用者 80 代女性が椅子からの立ち座りの練習中
バランスを失い左側へ転倒。看護師は支えきれず、利用者は
床に倒れ左半身を強打。搬送先病院で左大腿骨転子部骨折
との診断。



《事故発生後の流れ》

- 1, 利用者の救護、救急搬送、家族、ケアマネジャーへ連絡等、迅速な現場対応
- 2, 事故の検証、**記録**、行政への報告
- 3, 事業所が加入している損保会社へ報告。法的責任が認められれば保険料（賠償額）の決定。認められなければ見舞金にとどまる
- 4, 利用者や家族に検討結果をお伝えする

上記のポイントは「**記録**」と「**責任の有無**」です。ずばり予見できたか否かで判断されます。裁判となった場合では、「その態様で怪我をすることが具体的に予想できたか」という視点で検証されるようです。この利用者が普段から左側に傾きやすい傾向のある方であれば看護師の位置が問題となり、措置を怠ったということで過失が認められ賠償義務が課されることになります。

しかし、記録に「当日は体調も良く本人の同意の上、立ち座りの訓練を行うことになった」と記載があれば予見可能性はなく責任問題にはならないことになります。そのような事故発生までの状況を細かに振り返る必要があるため、**記録が重要**になります。

現在、ICT 化が進みタブレット記録等を導入している事業所が増えましたが、私たち訪問看護に限らず記録の重要性を再認識した方がよろしいかと思います。

急募！看護師＆介護支援専門員
お問合せは事務局 三 浦 まで

24hs 緊急対応可！【事業所番号：0262790132】

在宅リハビリ強化型 訪問看護リハビリステーション愛あい

TEL：0178-51-9553 FAX：0178-51-9554

営業時間：平日 8:30～17:30（休日：土日） ☎039-1526 五戸町字下長下タ 91-8

【発行元】

正看護師 : 3 名
准看護師 : 2 名
作業療法士 : 2 名
理学療法士 : 1 名
(2023 年 8 月現在)